

# 「わが家の電気・ガス料金しらべ」

## 報告書

### (5月分)

2016年7月

 **日本生活協同組合連合会**

**総合運営本部 政策企画部**

# 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

2016年4月1日より家庭用の電気について、事業者や料金、サービスを消費者が自由に選択できるようになりました。他のエネルギー関係事業者（都市ガス、LPガス、石油会社など）や様々な業種から参入があり、報道やテレビCMなども活発になっています。また、2017年4月1日からは家庭用の都市ガス小売事業も自由化される予定となっています。すでに自由化されているLPガス小売については、実質的な競争が行われず、不透明・不公正な状況が存在し、消費者が高い料金を払わされている実態が明らかになってきています。

こうした状況を踏まえ、組合員の協力を得て「わが家の電気・ガス料金しらべ」をインターネット調査にて行いました。調査結果より、消費者の立場から電気・ガスの料金動向や事業者の切り替え動向などについて分析し、家庭用の電気・ガス料金がどのような状況にあるのかを明らかにし、社会的に問題提起をする基礎資料としていきます。

## 2. 実施方法

Web上に「わが家の電気・ガス料金しらべ」サイト（スマートフォン、パソコン両方に対応）を設置し、インターネット調査で行います。組合員が、契約している電気・ガス（都市ガス、LPガス）の事業者名、電気・ガス料金、LPガス料金請求書（領収書）画像などを入力いただき、都道府県別に状況を集約しました。

今回の報告書は、5月の請求書（領収書）を元に、6月1日～30日までの調査期間中に回答いただいたデータを分析しました。

## 3. 調査対象

### （1）県連・会員生協の学習活動と結びつけた調査

組合員の学習活動などとあわせて、組合員向け諸会議資料やメールマガジンなどで、組合員向けのチラシを案内いただきました。チラシのQRコードを読み取っていただくか、直接URL（<http://jccu.coop/denki>）を入力いただくことで参加でき、取り組みにご協力いただいた県連、生協には、各県別データのフィードバックを行いました。

### （2）インターネットモニターによる調査

上記チラシによる呼びかけとともに、日本生協連のインターネットモニター（全国約4,000名）に、Eメール配信し、ご協力をお願いしました。

## 4. 回収状況

5月分の調査は、6月1日～30日の期間中に、2,028件の回答をいただき、そのうちの1,990件を有効回答とし、分析を行いました。

# 調査結果の特徴

---

## 1. 電力会社の切り替え状況

- 電力会社を替えた方は 73 件で全体の 3.7%。電気料金単価は、既存大手電力会社とほぼ同水準。
- 今後、電力会社を切り替える検討をしている方は、全体で 32.7%。地域によって検討中の割合に差がある。

## 2. ガス料金の特徴

- LP ガスの料金の方が都市ガスの料金よりも、月平均で約 700 円高い。
- LP ガスの料金は、家庭によって大きくバラツキがある（料金差が大きい）。
- LP ガスの料金は、集合住宅の方が戸建よりも高い（月平均で 1000 円以上高い）。

## 3. LP ガスの契約時書面、領収書の特徴

- LP ガスの契約時の書面について、「保管してある」が 46%、「もらったがなくした」が 22%、「もらった覚えがない」が 32%、合計で過半数の方が手元にない。
- LP ガスの領収書は、基本料金など明細が書かれていないものや、手書きなど様々。

## 4. 光熱費の比較（オール電化、電気と都市ガス、電気とLPガス）での特徴

- 「オール電化」が安く、「電気とLPガス」の併用の家庭が最も高い傾向にある。  
（※ただし、オール電化の戸建の場合には、初期費用がかかることも考慮する必要がある。）

# 調査結果

## 1. 回答者の概要について

### (1) 都道府県別 回答数

5月分（6月1日～6月30日 集約）における回答者は、2,028件となった。そのうち1,990件を有効回答とし分析を行った。都道府県別にみると、大阪府が223件で最も多く、兵庫県が166件、福岡県が150件、東京都が147件、神奈川県127件と続いた。

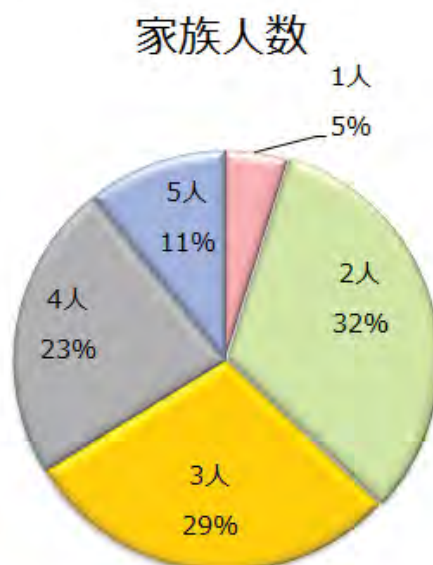
都道府県別 回答数（件）

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
106	21	37	138	15	16	13	43
栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
13	19	95	91	147	127	16	10
石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
20	7	14	29	32	51	40	26
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
19	37	223	166	13	5	8	14
岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
22	37	21	8	8	28	6	150
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
13	19	20	23	0	22	2	1,990

### (2) 家族人数

家族人数は、2人家族が641件で32%と最も多く、3人家族が581件で29%と続いた。

家族人数	1人	2人	3人	4人	5人
回答(件)	95	641	581	458	215

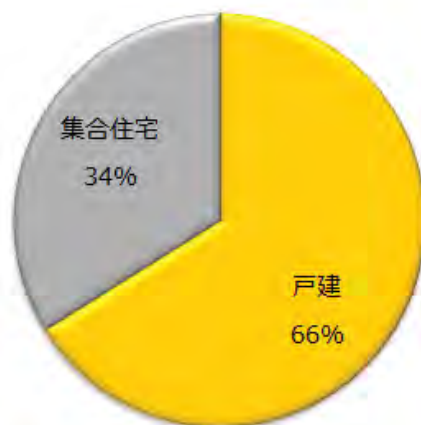


### (3) 住宅（戸建、集合住宅）

住宅は、戸建が 1,316 件で 66%、集合住宅が 674 件で 34%だった。

住宅別	戸建	集合住宅
回答(件)	1,316	674

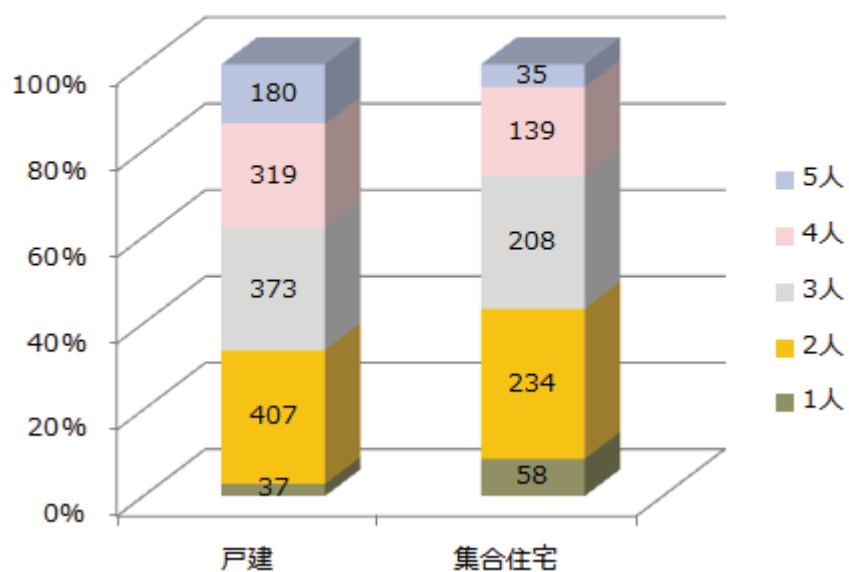
#### 住宅の種類



### (4) 住宅別 家族人数

家族人数を住宅別（戸建、集合住宅）にみると、1～3 人家族では集合住宅の割合が多いが、それ以上の家族人数だと戸建の割合の方が多かった。

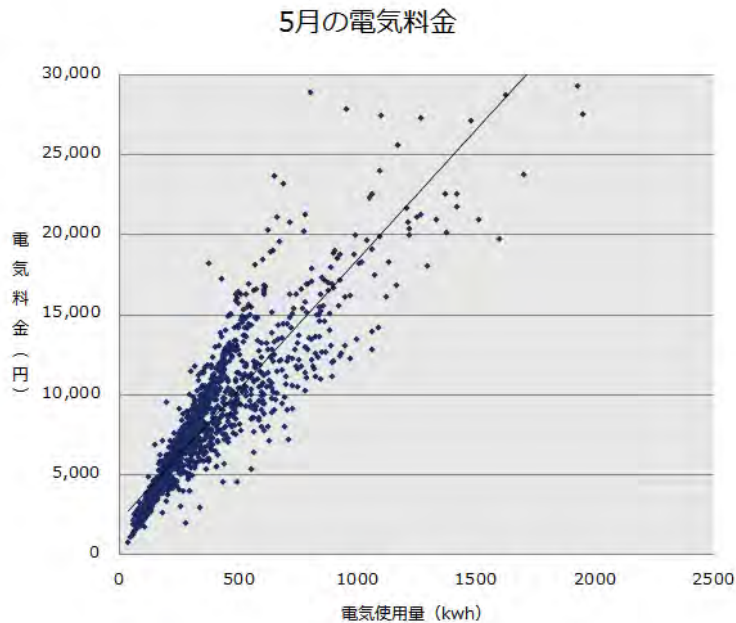
#### 住宅別 家族人数



## 2. 電気料金について

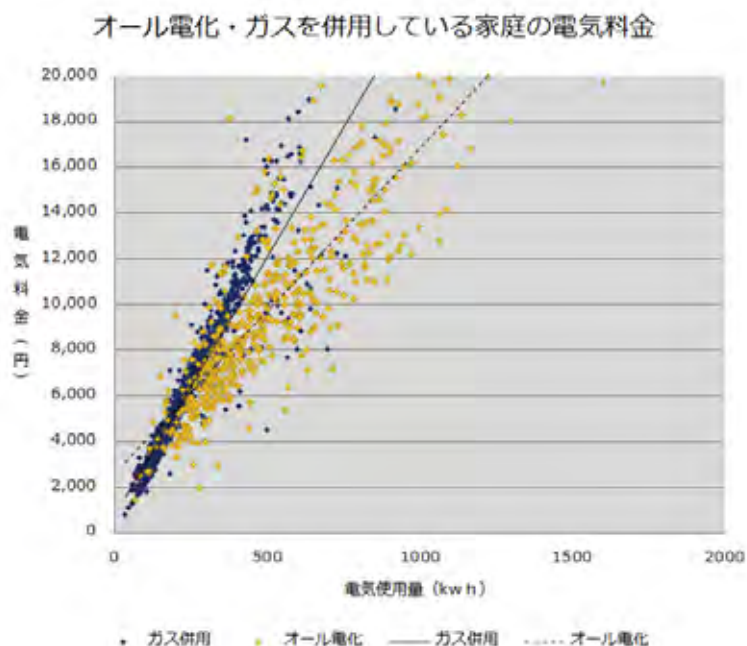
### (1) 電気料金

5月の電気の使用量の平均は、331kwh、平均料金は7,576円だった。なお、電気料金の分布のバラツキについては、オール電化の電気料金体系が、ガスを併用している一般の家庭と異なっていることなどが要因となっていると考えられる。加えて、使用量が少ないほど、基本料金の影響を受けて単価が高い傾向にあることも考慮する必要がある。



### (2) 電気料金（オール電化の家庭、ガス併用の家庭）

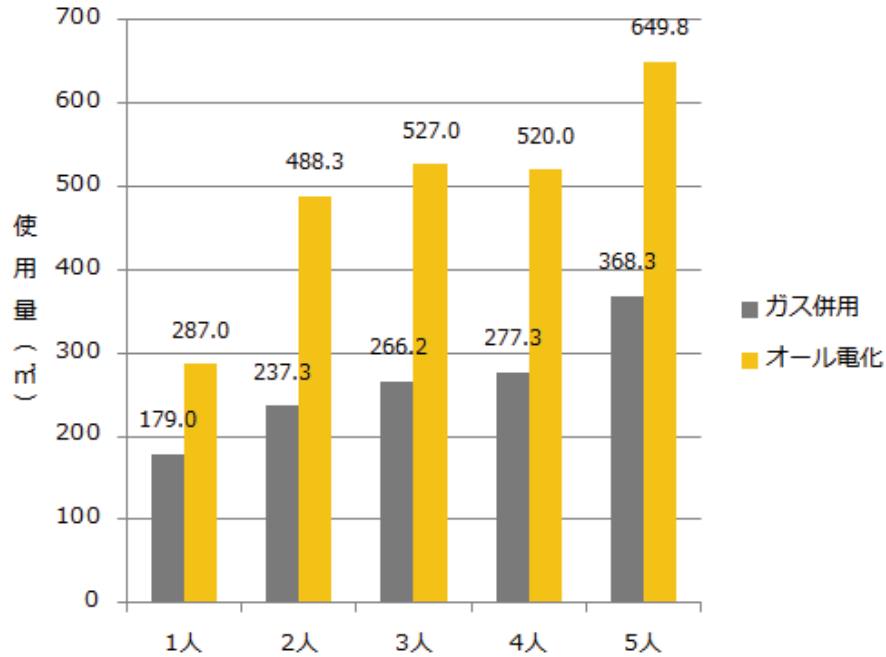
電気料金をオール電化の家庭（「ガスを使用していない」と回答した方）と、ガスを併用している家庭（都市ガス、LPガス、簡易ガス）に分けてみたところ、オール電化の家庭の方が、使用量が多く、料金の上昇も緩やかになっていた。ただし、オール電化の家庭の多くの割合を占める戸建の場合には、初期費用が大きくかかることも考慮してみていく必要がある。



### (3) 電気使用量（家族人数別、オール電化の家庭とガス併用の家庭）

家族人数別の電気使用量について、オール電化の家庭（「ガスを使用していない」と回答した方）と、ガスを併用している家庭（都市ガス、LP ガス、簡易ガス）の平均値をみたところ、どちらの家庭とも、家族人数 2~4 人家族の使用量に大きな差がないことがわかった。

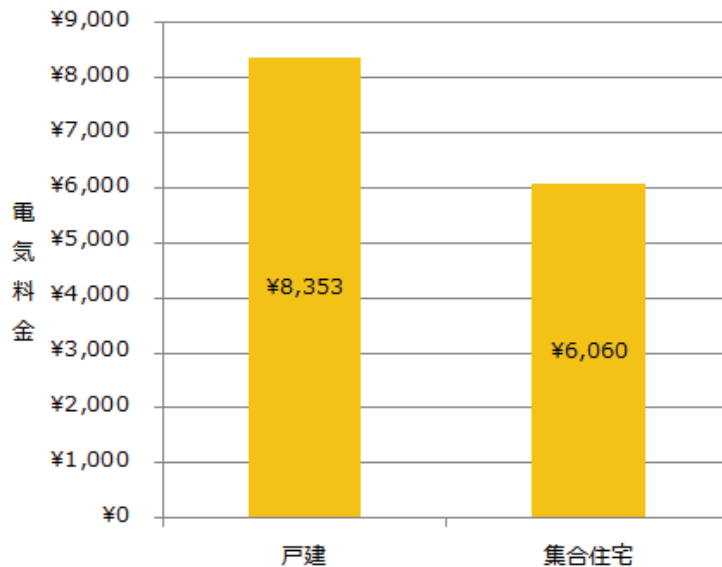
#### 家族人数別 電気使用量（平均）



### (4) 電気料金（住宅別）

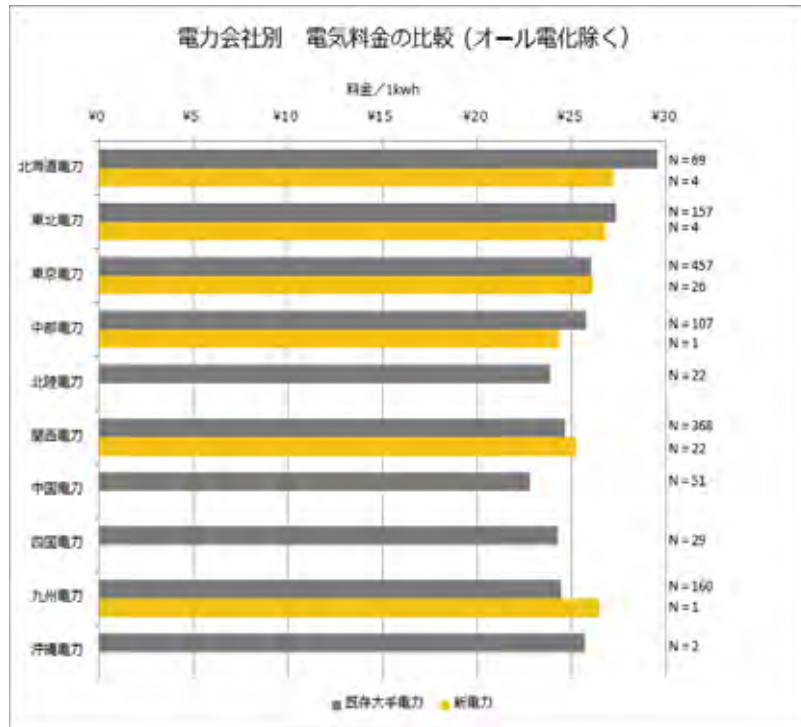
電気料金を住宅別にみると、集合住宅（平均 6,060 円）の方が、戸建（平均 8,353 円）よりも料金が低く、電気使用量も少ない傾向にあった。

#### 住宅別 電気料金（平均）



(5) 電気料金単価 (電力会社別)

5月分領収書で大手電力会社以外の「その他」の電力会社となっている方(4月までに新電力に切り替えた方)は59件だったが、1kwh当たりの電気料金単価は、既存大手電力会社とほぼ同水準となっていた。ただ、全体で見ても、切り替え件数が少なく、まだ評価できない。



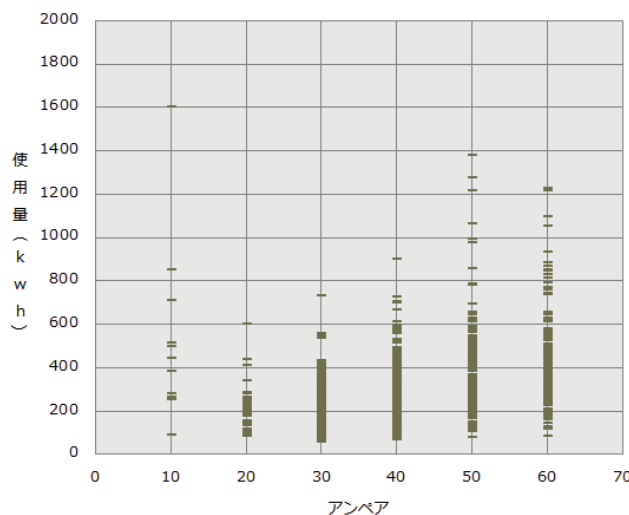
※九州電力エリアで新電力に切り替えた方は1名のみで、使用量がきわめて少ない方だったため、単価が高く出ている。

(6) 電気使用量 (アンペア別)

アンペア (A) 別では、40A の契約が 375 件と最も多く、アンペアの単位が上がるほど電気使用量が多くなる傾向があった。ただし、高いアンペア契約の中には、使用量が少ない家庭もみられ、より適正なアンペアに切り替えていくことで、料金を下げられる可能性もみられた。

アンペア(A)	10	20	30	40	50	60
件数	12	44	348	375	208	146

アンペア別 電気使用量



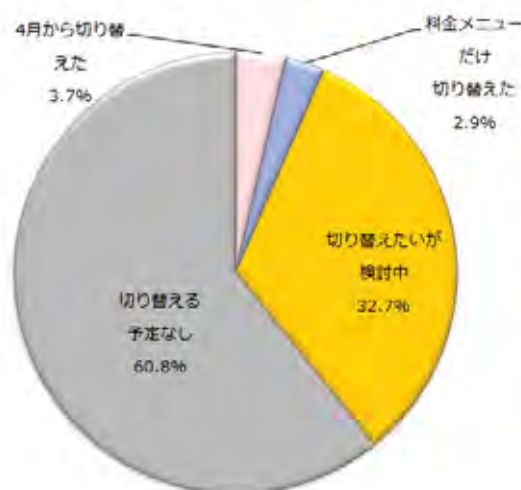


### (7) 今後の電力会社・電気料金の切り替え予定

今後の電力会社・電気料金の切り替え予定についてきいたところ、「4月から切り替えた」が73件で3.7%、「同じ電力会社で料金メニューだけ切り替えた」が57件で2.9%であった。「切り替えたいが、検討中」は、651件で32.7%あり、あわせて約4割の方が切り替えたか、切り替えを検討していることが分かった。

今後の電力会社・電気料金の切り替え予定	件数
1 4月から切り替えた	73
2 同じ電力会社で料金メニューだけ切り替えた	57
3 切り替えたいが、検討中	651
4 切り替える予定なし	1,209

今後の電力会社・電気料金の切り替え予定



### (8) 今後の電力会社・電気料金の切り替え予定（電力会社別）

今後の電力会社・電気料金の切り替え予定について、電力会社別にみると、北海道電力エリア内では、「切り替えたいが検討中」が53.4%と、過半数が検討している状況がみられ、東京電力エリア内で39.6%、関西電力エリア内で35.8%と続いた。

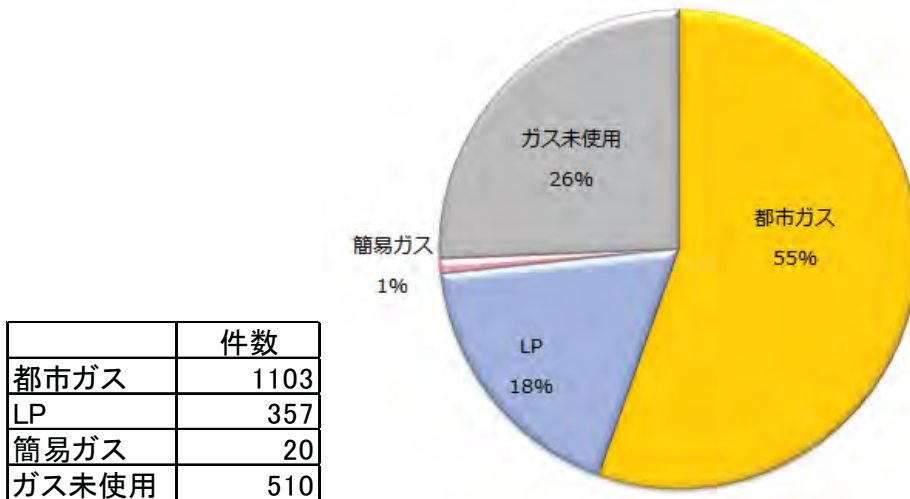


### 3. ガス料金について

#### (1) ガスの種類

使用しているガスを種類別にみると、都市ガスが 1,103 件で 55%と最も多く、ガス未使用（オール電化とみなす）が 510 件で 26%、LP ガスが 357 件で 18%となっていた。ガス未使用の家庭が LP ガスを使用している家庭よりも多かった。

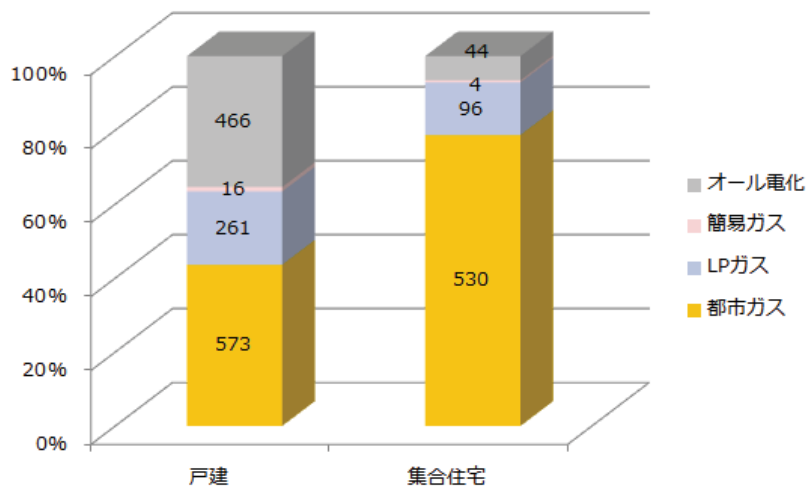
ガスの種類



#### (2) ガスの種類（住居別）

使用しているガスの種類を住宅別にみると、集合住宅では都市ガスが 530 件、約 79%と多かった。戸建では、オール電化の家庭が 466 件、35%と、集合住宅（7%）よりも多くなっていた。

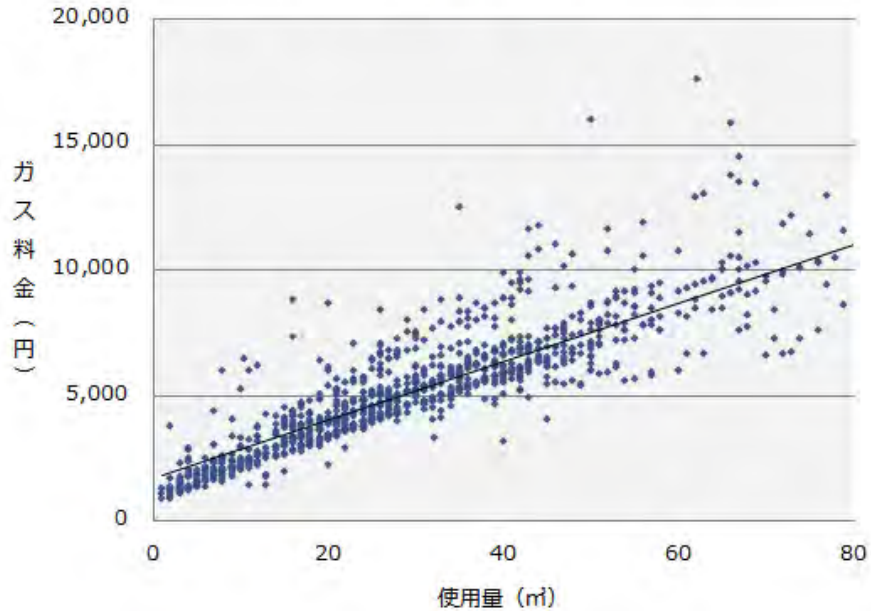
住宅別ガスの種類



### (3) 都市ガスの料金

都市ガスの使用量の平均は 31 m<sup>3</sup>で、平均料金は 5,329 円だった。料金の分布をみると、使用量によって料金は比例しており、家庭によって大きなバラツキもみられなかった。

#### 都市ガス料金の分布



### (4) 都市ガスの料金（住宅別）

都市ガスの料金を住宅別にみると、平均額は集合住宅（平均料金 5,012 円、平均使用量 28.1 m<sup>3</sup>）と戸建（平均料金 5,632 円、平均使用量 33.6 m<sup>3</sup>）の間に大きな差はなかった。

#### 戸建・集合住宅別の都市ガス料金

